

平成20年11月 7日

東北地方整備局

入札監視委員会第二部会第2回定例会議（10月9日） の審議概要について

～抽出案件6件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成20年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第2回定例会議が10月9日（木）、東北地方整備局で開催されました。

定例報告では、平成20年4月1日～平成20年6月30日までを対象とした事案（①工事、コンサルタント業務、役務の提供等・物品の製造等の総契約件数、②指名停止措置、③談合情報、④一位不動状況、⑤低入札状況）の報告を行いました。

議事では、委員により抽出された案件6件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

○審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区花京院一丁目1番20号

TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契 約 管 理 官
経 理 調 達 課 課 長 補 佐

佐々木 繁 良（内線6221）
高 木 義 光（内線6554）

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所	平成20年10月 9日（木）東北地方整備局会議室			
委員	部会長 佐々木 公明（尚絅学院大学学長） 部会長代理 三輪 佳久（弁護士） 委員 真野 明（東北大学大学院工学研究科教授）			
審議対象期間	平成20年 4月 1日～平成20年 6月30日			
総抽出案件	総件数 6件	入札・契約手続きの方式 （工事） ・一般競争（WTO対象外）：工事規模が7億9千万を超えない工事 （建設コンサルタント業務等） ・簡易公募型プロポーザル方式 （役務提供等及び物品の製造等） ・一般競争		
工	抽出案件		件数 4件	
	一般競争（WTO対象）		0件	
	一般競争（WTO対象外）		4件	
	工事希望型競争		0件	
	通常指名競争（港湾土木）		0件	
	通常指名競争（空港等土木）		0件	
	事		通常指名競争（港湾・空等等土木以外）	0件
			随意契約	0件
建設コンサルタント業務等	1件			
役務の提供等及び物品の製造等	1件			
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答		
	別紙のとおり	別紙のとおり		
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし			

抽 出 案 件 工 事 概 要 書

	工 事 名	入札・契約方式	工事（施工）場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	入札参加 業者数
1	小名浜港東港地区護岸（防波）築造工事	一般競争 （WTO対象外）	いわき市小名浜 港内	472,500 1 回目落札	5者	5者
2	小名浜港東港地区護岸（防波）本体工事	一般競争 （WTO対象外）	いわき市小名浜 港字高山地先4 号ふ頭ケーソン ヤード構内外	483,000 1 回目落札	4者	4者
3	仙台塩釜港塩釜港区外港地区航路（- 7 . 5 m） 浚渫工事	一般競争 （WTO対象外）	塩釜港区外港地 区、石巻市雲雀 野地区埋立地	362,250 1 回目落札	4者	4者
4	仙台塩釜港塩釜港区外港地区航路（- 7 . 5 m） 浚渫工事（その2）	一般競争 （WTO対象外）	塩釜港区外港地 区、石巻港西浜 地区	109,200 1 回目落札	1者	1者

抽 出 案 件 建 設 コ ン サ ル タ ン ト 等 概 要 書

	業 務 名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	入札参加 業者数
5	工事検査等補助業務	随意契約	-	265,650 2 回目決定	1者	1者

抽 出 案 件 役 務 及 び 物 品 概 要 書

	業 務 名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	入札参加 業者数
6	青森港機械設備修理及び改造工事	一般競争	青森港湾事務所 ケーソンヤード 構内	141,750 2 回目落札	1者	1者

意見・質問		回 答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・特になし	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・特になし	
1-3	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・特になし	
1-4	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・特になし	
1-5	定例報告 「談合情報等の対応状況資料」 ・特になし	
1-6	定例報告(その他) 「入札公告の改正及び低入札価格調査基準価格の見直しについて」 ・調査基準価格は具体的にどの程度変更されたのか。 ・調査基準価格の見直しは、各整備局ごとに行っているのか。	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度の平均値は予定価格の79.3%となっており、見直し後の平均値は予定価格の83.6%となっているため、4.3%程度上昇している。 本省からの通達に基づき、全国一律に見直しを行っている。
2-1	審 議 一般競争 「小名浜港東港地区護岸(防波)築造工事」 ・特になし	
2-2	審 議 一般競争 「小名浜港東港地区護岸(防波)本体工事」 ・入札結果を見ると、3者が調査基準価格未満となっており、その結果落札率の高い1者と契約を行っているが、どうしてか。 また、調査基準価格未満の者の加算点が、一様に低いはどうしてか。 ・落札者は、評価値の一位にするということか。 ・調査基準価格未満であっても、評価値が一位の場合は、その者を落札者とするのか。	<ul style="list-style-type: none"> 本工事は施工体制確認型を導入しており、品質確保や施工体制が十分に確保できることを条件として、施工体制にかかる加算点を付与する仕組みとなっている。確認を行った結果、施工体制にかかる加算点が調査基準価格以上の者より低くなり、落札者の方が評価値が高くなったものである。 そのとおりである。 そのとおりである。

	意見・質問	回答
2-3 2-4	<p>審議 一般競争 「仙台塩釜港塩釜港区外港地区航路(-7.5m)浚渫工事」 「仙台塩釜港塩釜港区外港地区航路(-7.5m)浚渫工事(その2)」</p> <ul style="list-style-type: none"> これらの工事は、1件で発注できなかったのか。そうすれば、経費も割安になるのではないか。 その2工事は、1者しか参加者がいなかったが、その理由は把握しているのか。 1者しか参加者がいなかった案件については、業界の意見を聞くなどした方が良いと思うが。 	<ul style="list-style-type: none"> 浚渫区域の場所が離れていること。また、浚渫した土砂の処分方法がそれぞれ異なることから、2件で発注したものである。 さらに、施工期間が地元との取り決めで限定されており、1件の工事では完成が困難であった。 推測となるが、作業船の手配が行えることが条件となっていることから、1者しか参加しなかったと思われる。 機会をみて、意見を聴取することとしたい。
2-5	<p>審議 随意契約（簡易公募型プロポーザル方式） 「工事検査等補助業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者が1者しかいないのはどうしてか。 中立・公平性に関する条件で、資本・人事面での確認はどう行っているのか。 1件にこだわらず、2件などに分割する方法もあるのではないか。 契約金額が予定価格に近すぎるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 何故1者しか応募がなかったのかは、わからない。 人事面の確認については、資格者名簿による確認と役員名簿の検索等を行っている。資本面での確認については、株主名簿等の確認等が必要なことから、方法について検討して参りたい。 業務の効率化のために1件としたものです。 プロポーザル方式の場合は、業務規模を入札説明書に示しており、その金額内で業務を実施することが前提となっていること。 そのため、技術提案書が特定され、見積書の提出を求めた場合は、業務規模に見合った金額で見積がなされることから、予定価格に近い場合が多い。
2-6	<p>審議 一般競争方式 「青森港機械設備修理及び改造工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> 本工事の入札説明書の配布場所が、公益法人となっていることは、問題ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本件については、従来より当該公益法人に入札説明書の交付を依頼していましたが、昨今の情勢に鑑み、今後については整備局において直接交付を行うこととしたい。